

1. インターバンク市場

8/3~8/7のインターバンク市場は、7月31日に無担保コールO/Nレートが低下した影響が3日の朝方に若干見られたものの、程なくして消え、その後は小じっかりとした出会いが続いた。地銀・信託に加えて、5日以降は大手行も調達意欲が高まったことで、週間の出会いは0.07%台半ばから後半が中心となっていた。8月は資金不足となりやすい月であるためか、週を通して試し取りが散見された。5日には一定量の試し取りが行われ、5日の加重平均レートは0.078%まで上昇した。日銀当座預金残高は、4日の税・保険料揚げ等を中心に資金需給上の不足日が多かったため、220兆円台前半まで減少した。ターム物は大手行から3W程度の調達が見られたほか、証券業態から3M~4M程度の調達が見られた。固定金利方式の共通担保資金供給オペは、6日に3M・8,000億円でおファーされ、落札額2,381億円(期落ち分1,600億円)と札割れの結果になった。6~7日には日銀金融政策決定会合が開催され、金融調節方針の現状維持が決定された。また、金融政策決定会合等の日程(2015年9月~2016年12月)が発表された。

8/10~8/14のインターバンク市場は、10日がTB3M発行超過・TB6M発行超過などの要因で大幅な資金不足日となり、14日は年金定時払いで大幅な資金余剰日になると予想される。無担保コールO/Nは引き続き0.07%台の取引が見込まれる。主な経済イベントとしては、14日の4-6月期のユーロ圏GDP速報値が挙げられる。

2. オープン市場

8/3~8/7の短国市場は、品薄感が強く、期間を問わずマイナス圏での推移が続いていた。短国の入札は、5日に6M物、6日に3M物が実施された。6M物の入札はWI取引で▲0.02%と強めの出会いが見られたこともあり、平均落札利回▲0.0218% 最高落札利回▲0.0158%と事前予想通りながらも強めの決着となった。セカンダリーでは買入オペを睨んで▲0.05%まで買い進まれていた。3M物の入札はWI取引において▲0.006~▲0.004%と3M物にしては強めの出会いが見られたせいも、平均落札利回▲0.0052% 最高落札利回▲0.0040%と事前予想より若干強めの結果となった。セカンダリーでは、ショートカバーの買いからか、結果発表直後に一時▲0.015%の出会いも見られたものの、その後は売り買いが交錯し、▲0.008%から▲0.002%までレートは上昇した。週末の気配は6M物が▲0.08~▲0.05%、3M物は▲0.005~▲0.002%程度となっていた。

8/3~8/7のCP市場は、月初となったことで、発行は閑散であった。5日発行、10日発行で通信、食料品、建設業態等からまとまった発行も見られたものの、週間発行総額は約5,000億円程度にとどまった。a-1格以上の発行レートは概ね横ばい圏で推移したものの、足元金利の上昇からショートターム物や、発行が集中する9月末償還物等では若干のレート上昇が見られた。6日に3,500億円でおファーされたCP等買入オペは、売却可能銘柄が少なく、応札額も8,495億円にとどまった。しかし、前回比でおファー額が500億円減となったことや、足元金利の高止まりなどの要因からか、平均落札利回0.087%、按分落札利回0.085%と前回(平均0.090%按分0.085%)比で概ね横ばいの結果となった。

8/10~8/14の短国市場は、13日に3M物の入札が実施予定となっており、引続き堅調な結果が予想される。10日には短国買入オペが実施される見通しとなっており、オファー金額や落札水準が注目される。CP市場は、夏季休業に入る発行体が多く、発行額、発行案件共に少なくなる為、閑散としたマーケットが予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で100億円程度の発行超見通し。財政等要因は、10日のTB3M発行超過、TB6Mの発行超過、12日の源泉所得税揚げ、13日の30Y発行、14日の年金定時払い等があり、2兆8,700億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で2兆8,600億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<10日>TB3M;償還45,000億円・発行51,000億円 / TB6M;償還19,600億円・発行35,000億円 / 流動性供給3,000億円 <12日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円 <13日>30Y;発行8,000億円 <14日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
8/10 (月)	900	△ 31,300	△ 30,400	全店共通(固) CP買入 ETF買入	△ 1,600 △ 300	2,400	600	△ 29,800
8/11 (火)	0	1,000	1,000	CP買入		100	3,500	4,500
8/12 (水)	0	△ 5,000	△ 5,000				0	△ 5,000
8/13 (木)	0	△ 8,000	△ 8,000				0	△ 8,000
8/14 (金)	△ 1,000	72,000	71,000				0	71,000
週間合計	△ 100	28,700	28,600		△ 1,900	6,000	4,100	32,700

(注) 上表の8/10は日銀予想、8/11以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
8/10 (月)	金融経済月報(日銀 14:00) 6月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 6月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 7月の消費動向調査(内閣府 14:00) 7月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)		7月のFRB 労働市場情勢指数
8/11 (火)	7月のマネーストック(日銀 8:50)	30Y 8,000億円 8/13発行	エネルギー 対策借入 5,000億円 8/19借入
8/12 (水)	金融政策決定会合議事要旨(7月14,15日分8:50) 7月の企業物価指数(日銀 8:50) 6月の第3次産業活動指数(経済産業省 8:50) 6月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB2M 25,000億円 発行中止	7月の米財政収支
8/13 (木)	6月の機械受注統計(内閣府 8:50) 6月のマネタリーサーベイ(日銀 8:50)	TB3M 51,000億円 8/17発行	5Y 25,000億円 8/17発行
8/14 (金)		国有林野借入 992億円 8/25借入	7月の米生産者物価指数 7月の米鉱工業生産・設備稼働率 8月のミシガン大消費者信頼感指数速報 4-6月期のユーロ圏GDP速報値 7月のユーロ圏消費者物価指数改定値

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。